

## 低濃度 PCB 汚染絶縁油簡易測定法の検討について

### 1. 共通試料分析

共通試料：微量の PCB を含む絶縁油（国立環境研究所調製）

試料数：濃度の異なる 20 試料（濃度及び組成は未通知）（濃度は 0.1～3.0ppm）

測定回数：PCB 濃度が 0.5ppm 付近である 6 試料は 3 回測定、それ以外の 14 試料は 1 回測定

配布方法：アンプル入り試料（約 5 mL/検体）を 6 月に配布開始

### 2. 分析方法

各機関が提案する方法とする。

### 3. 試験結果報告項目

前処理法

測定方法

標準物質及び検量線作成方法

検出下限及び定量範囲とその設定方法

測定の実施状況の証拠（クロマトグラム等の生データ、写真等）

測定料金 一度に多数の検体を依頼した場合の 1 検体当たりの料金

測定時間 一度に多数の検体を依頼した場合の 1 検体当たりの測定時間

### 4. 評価の方針

公定法（厚生省告示第 192 号別表第 2）による HRMS 測定結果の平均値を真値とし、評価する。評価は、真値との一致性、測定結果の再現性、回収率、迅速性、簡易性等により行う。また、欧州委員会 (EC) における食品中のダイオキシン類のスクリーニング指針 (Commission Directive 2002/69/EC Annex II 7. Screening methods of analysis) を参考に、偽陽性率と偽陰性率を評価する。